

チームがまごおり



蒲中学区4校（蒲郡中&蒲南小&蒲東小&竹島小）のコミュニティ・スクール化に向けて

10月以降、市内のコロナ感染症のレベルも下がり、蒲中学区の各学校では、地域のボランティアの皆さんのご協力のもと、さまざまな活動が行われています。

東部公民館で放課後子ども教室の実施

11月4日（木）から東部公民館で放課後子ども教室が始まりました。毎週木曜日の授業後全12回の予定です。放課後子ども教室とは、「地域の方の協力を得て、すべての子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせるように、学習や様々な体験活動を行う事業」のことです。蒲郡市ではまだ実施されていませんが、将来的には市内の全小学校で実施する予定です。



本年度はそれに先駆け、まず蒲郡東部小学校で試行的に実施することになりました。参加児童は4～6年生の希望者13名。まず、子どもたちは学校から公民館に着くと30分ほど和室で宿題など学習を行います（写真上）。続いて2階の研修室に上がり1時間ほど体験プログラムで楽しめます。このプログラムの内容は、英語、折り紙、習字、マジックなど日によって違い、主に地域のボランティアの方が担当してくれます。



12月2日（木）には市長さんや教育長さんが視察に来られました。この日の体験プログラムはニュースポーツの「ボッチャ」。子どもたちは市長さんや教育長さんと一緒にボッチャを楽しみました（写真下）。

蒲中生徒による公民館看板づくり始まる

蒲郡中学校では府相公民館と連携した取り組みを行っています。夏休みには、公民館で実施した「小学生ポスター教室」のお手伝いを行いました。また、生徒の作品や校長先生のおたよりも定期的に公民館に展示しています。写真上は公民館まつりの折りに、展示された生徒の作品です。



12月からは美術部の生徒が公民館の看板づくりに挑戦します。その前に11月27日（土）、代表の生徒5名が公民館を訪れ、どんな看板を作りたいか、それぞれの思いを発表しました（写真下）。「みんなの笑顔があふれる公民館、訪れた人の心が輝くような公民館、子どもたちもいっぱい来てほしい…」生徒一人ひとりが看板づくりにかける思いを発表しました。看板は今年度中に完成し、公民館南側のフェンスに取り付けられる予定です。



地域学校協働活動各小学校の様子

蒲郡南部小学校

★青空まちカフェ…黄色の銀杏の絨毯の上で、子どもたちと地域の方々とちょっと音楽を楽しもうと、11月の昼放課に3回、小さな音楽会、マルシェ、音楽と絵本のお話会を開催しました。青空の下、音に誘われて参加した子どもたちの表情がとても生き生きしていました！

★授業づくり…4年生が、社会科で地域の防災課題について考え、敬老会の記念品に「寝室の家具を固定してね」とお手紙を添えました。また、5・6年生の家庭科「裁縫」「調理実習」、運動会前の「草刈り」、「花壇の植え替え」でも、ボランティアさんが活躍しました。

★がまん畑…1年生と落花生を、6年生とサツマイモを収穫しました。

★公民館「子ども教室」…放課後の子どもたちの活動を支援しようと、小江公民館で「子どもダーツ教室」が開催されました！（早川支援員）



蒲郡東部小学校

10月の26・27・28日に、2年生が生活科「まちたんけん」の学習を行いました。郊外の学習なので、「けがや事故なく安心安全に取り組めるよう引率ボランティアの協力をお願いしたい」という要望がありました。そこで、保護者の方に呼び掛けたところ3日間で延べ12人の協力を得ることができました。1日目の五井方面の時には、元五井町総代の小田哲久さんに「五井の先生」として五井のすてきなところの紹介と説明をしていただきました。お寺や城跡や古墳を見たり、ムクロジの実を拾ったりしました。安全で楽しい学習を進めることができました。（小田支援員）



竹島小学校

「スーパーマーケット見学」・「三河湾ケーブルネットワーク見学」・「まちたんけん」などの引率ボランティア、「ミシンでつくろうトートバッグ」、「昔遊び」を子どもたちに教えるボランティアなどの依頼を受け、多数の方のおかげで無事進めることができました。感謝しています。

11月から月に一度、「遊ぼうデー」の時間（13：25～13：55）を使って地域の方とふれあう場をもつ試みも始まりました。子どもたちのおかげで、色々な発見や勉強をさせていただいています。（山口支援員）

